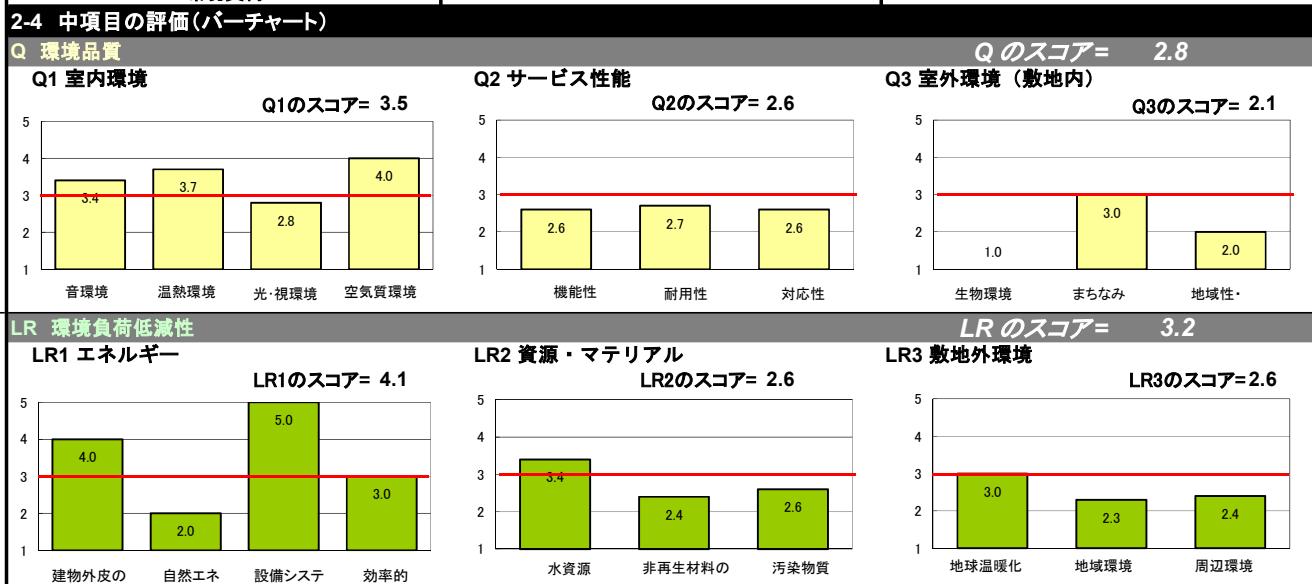
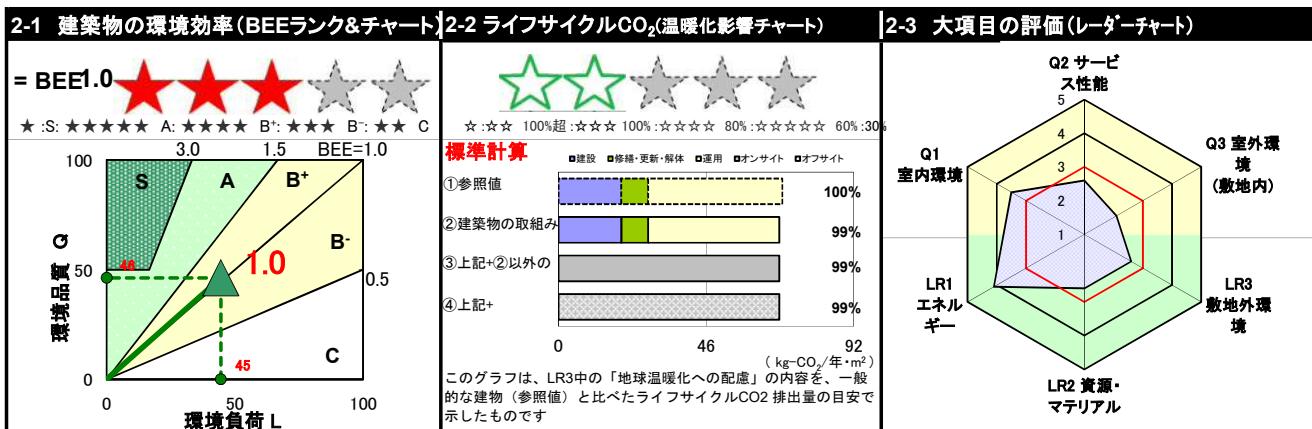


# CASBEE® 名古屋

■ 使用評価マニュアル: CASBEE 評価指標2016版、名古屋市環境総合性能評価マニュアル2016

## 評価結果

1-1 建物概要		1-2 外観	
建物名称	(仮称)オープンレジデンシア 守山区廿軒家	階数	地上15階
建設地	名古屋市守山区廿軒家2104番の一部	構造	RC造
用途地域	商業地域、準防火地域	平均居住人員	210 人
地域区分	6地域	年間使用時間	8,760 時間/年(想定値)
建物用途	集合住宅,	評価の段階	実施設計段階評価
竣工年	2024年8月 予定	評価の実施日	2022年12月5日
敷地面積	1,004 m <sup>2</sup>	作成者	
建築面積	371 m <sup>2</sup>	確認日	
延床面積	4,246 m <sup>2</sup>	確認者	



■CASBEE: Comprehensive Assessment System for Built Environment Efficiency (建築環境総合性能評価システム)

■Q: Quality (建築物の環境品質)、L: Load (建築物の環境負荷)、LR: Load Reduction (建築物の環境負荷低減性)、BEE: Built Environment Efficiency (建築物の環境効率)

■「ライフサイクルCO<sub>2</sub>」とは、建築物の部材生産・建設から運用、改修、解体廃棄に至る一生の間の二酸化炭素排出量を、建築物の寿命年数で除した年間二酸化炭素排出量のこと

■評価対象のライフケイクルCO<sub>2</sub>排出量は、Q2、LR1、LR2中の建築物の寿命、省エネルギー、省資源などの項目の評価結果から自動的に算出される

## 重点項目スコア・結果シート

(仮称)オープンレジデンシア 守山区廿軒家

- 使用評価マニュアル: CASBEE-建築(新築)2016年版、名古屋市建築物環境配慮制度運用マニュアル  
 ■評価ソフト: CASBEE\_Nagoya\_2016(v3.0)

重点項目	評価	全体に対する重み係数	重点項目スコア
<b>1. 温暖化対策</b>			<b>3.7</b>
LR1 エネルギー	4.1	0.4	
LR3.1 地球温暖化への配慮	3.0	0.1	
LR3.2.2 溫熱環境悪化の改善	2.0	0.05	
<b>2. 自然共生</b>			<b>1.3</b>
Q3.1 生物環境の保全と創出	1.0	0.09	
Q3.3.1 地域性への配慮、快適性の向上 まちなみ・景観への配慮	地域性のある材料の使用※1	無	0.009
Q3.2 敷地内温熱環境の向上	2.0	0.045	
<b>3. 循環型社会</b>			<b>2.6</b>
LR2.1 水資源保護	3.4	0.06	
LR2.2 非再生性資源の使用量削減	2.4	0.18	
LR3.2.3 地域インフラへの負荷抑制 ※2	2.3	0.01875	

## 結果

## 1. 温暖化対策

評価点 = 3.7



## 2. 自然共生

評価点 = 1.3



## 3. 循環型社会

評価点 = 2.6



重点項目のスコアは以下のように算出している。

$$\text{重点項目スコア} = \frac{(\text{評価点} \times \text{全体に対する重み}) \text{の総和}}{\text{全体に対する重みの総和}}$$

※1 ここでは、Q3. 3. 1の評価する取組みのうち評価項目 1) 地域性のある材料の使用 又は、Q3. 2において評価する取組みのうち評価項目 4) 地域性のある素材による良好な景観形成 のいずれかでポイントがある場合は「有」、ない場合は「無」を評価とした。重点項目スコアの算出における評価点は評価「有」の場合は5、「無」の場合は1とし、重みはQ3. 3. 1の全体に対する重みに0. 2を乗じたものとしている。

※2 ここでは、LR3. 2. 3のうち、LR3. 2. 3. 3 交通負荷抑制 を除いたもので評価点及び全体に対する重み係数を算出している。したがって、ここでの評価点はスコアシートにおけるLR3. 2. 3の評価点とは異なるものである。